

平成27年度 佐賀大学・小城市交流事業特別展

佐賀大学地域学歴史文化研究センター開設10周年

小城祇園祭

千葉・鍋島から現代へ



◆山鉾と須賀神社

◆千葉胤貞坐像

〔松尾山光勝寺蔵〕



◆鍋島直茂像

〔公益財団法人鍋島報効会蔵〕



◆元茂公御年譜〔佐賀大学附属図書館蔵〕千葉氏時代の祇園祭の記事

入場無料

平成27年

10月31日 ◆ 12月13日 ◆

小城市立歴史資料館
企画展示室

開館時間 9時～17時

休館日 毎週月曜日、〔11月3日〔火〕は開館〕

11月4日〔水〕・11月24日〔火〕は休館

主 催 佐賀大学地域学歴史文化研究センター

小城市教育委員会

問い合わせ先 小城市立歴史資料館

TEL 0952-71-1132

関連行事

◆記念講演会 14時～15時30分 参加自由 | 100円 (資料代等)

場所 | 小城市立歴史資料館研修室

10月31日〔土〕

「祇園社から須賀神社へ ―小城の祇園信仰―」

講師 | 三ツ松 誠氏 佐賀大学地域学歴史文化研究センター 講師

11月28日〔土〕

「祇園祭と小城藩・佐賀藩」

講師 | 伊藤 昭弘氏 佐賀大学地域学歴史文化研究センター 准教授

◆史跡探訪会 9時～12時 展示室前集合 定員 | 35名 要予約 参加費 | 100円 (資料代等)

案内 | 小城市郷土史研究会

11月21日〔土〕

須賀神社など展示内容に関する史跡を訪ねます。

*関連行事参加の方は、車は小城公園駐車場をご利用ください。

小城祇園祭

千葉・鍋島から現代へ

◆五輪塔〔光勝寺蔵〕



松尾山光勝寺で発見された永正八年銘五輪塔

◆山鉾模型〔小城町下町公民館蔵〕

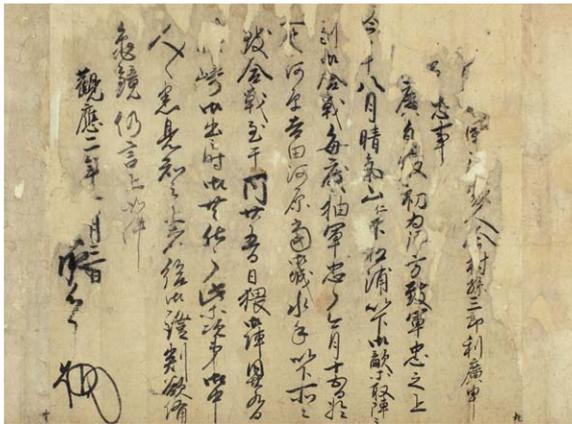


小城市小城町にある須賀神社(祇園社)は、由緒によれば延暦22年(803)創建とされ、正和5年(1316)千葉胤貞が下総国より小城に移った際に京都の祇園社を分祀したとされています。千葉胤貞が行った、軍陣稽古が山挽祇園の始まりとされ、千葉氏衰退後は、近世には小城鍋島藩治世下において、毎年6月15日に挽山が催されました。

しかし天保14年(1843)、佐賀藩藩政改革により挽山は中止となり、以後、明治にいたるまで再開されることはありませんでした。

本展示では、中近世の祇園社・祇園祭に関する史料を中心に、佐賀藩藩政改革との関係や、明治期の再興について紹介します。

◆今村利廣軍忠状〔小城市重要文化財「今村家及び南里家文書」、個人蔵 小城市立歴史資料館寄託〕



◆千葉胤繁書状〔佐賀県重要文化財「龍造寺家文書」、佐賀県立図書館蔵〕



←一番古い「山挽」記事

◆小城藩日記 天和二年〔佐賀大学附属図書館蔵〕



←「先山」と「跡山」の山形決めの記事

◆小城藩日記 文化十四年〔佐賀大学附属図書館蔵〕



◆丹邱邑誌〔佐賀県重要文化財「多久家文書」、多久市郷土資料館蔵〕

◎展示構成

- 1 | 肥前千葉氏と祇園社
 - 肥前千葉氏発給文書や遺物
- 2 | 祇園祭と鍋島家
 - 元茂公御年譜、鍋島直茂像、小城藩日記など
- 3 | 祇園祭のようす
 - 小城藩日記など歴史資料のほか、現代の祭で使用した道具など
- 4 | 祇園祭の再興
 - 須賀神社の記録など

◆古町遺跡出土遺物
祇園川沿いに形成された集落



- ◎JR唐津線小城駅より……………徒歩5分
- ◎長崎自動車道佐賀大和インターより唐津方面……………15分
- ◎長崎自動車道多久インターより佐賀方面……………15分

小城市立歴史資料館
〒845-0001 佐賀県小城市小城町158-4 (桜城館内)
TEL 0952-71-1132 FAX 0952-71-1145

題字 揮毫：平田夏帆